

DECISION

Protest and Request for Redress

Request No.: 13

Heard Jointly With Number(s): 10, 14

Event: 2022 Kyushu Int-College Teams Race Number: 5
Hearing Schedule: 2022-09-24 19:40

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 13: Snipe - 西南学院大学 - JPN 31683 - 31683 - 小野 歩

Snipe - 鹿屋体育大学 - JPN 30348 - 30348 - 深田 光

Request No.: 14: Snipe - JPN 30348 - 深田 光

Snipe - JPN 31683 - 小野 歩

Request No.: 10: Snipe - JPN 31683 - 小野 歩

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号10、審問番号13、審問番号14は、同じインシデントであるので、同時審問として進めた。
当初、艇31683からオンラインにて締切時間内に審問番号10が提出されたが、不備があったために、艇31683からオンラインで審問番号13と書面で審問要求書が再度提出された。また、艇30348からは書面での審問要求書が提出され、その後、オンラインにて審問番号14が提出されたが、書面での審問要求書の提出時間（18:16:15）が締切時間を超えていた。遅れたもっともな理由がないので、審問番号14は無効であり打ち切りとした。
艇30348からの書面での審問要求書を以下に添付する。

2022年度 九州学生ヨット選手権大会 (団体戦)

審問要求書/プロテスト委員会からのその他の処置要求書

受付時刻 日付: 時刻: 受付者:	抗議締切時刻:	ケース番号:
1. レース日: 9/24	シリーズ: 九州学生ヨット選手権大会	レース番号: 5
2. 審問の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 抗議 (艇の規則違反に関する申し立て) <input type="checkbox"/> 救済要求 <input type="checkbox"/> 審問再開の要求 (規則 66)	<input type="checkbox"/> DP ペナルティーの報告 (規則 64.6) <input type="checkbox"/> 支援者に関する報告 <input type="checkbox"/> 不正行為の報告 (規則 69)	
3. 申立人 - 抗議者, 申立者, 救済要求者, 報告者 クラス/フリート: スパイ	セール番号/艇名: 31683	委員会名:
所属: 西市高等学校	氏名: 小野 歩	電話番号: 070-9492-7179
4. 被申立人 - 被抗議者, 救済を要求する委員会, 支援者, 不正行為の関係者 クラス/フリート/委員会名: スパイ	セール番号/艇名/氏名: 30348	電話番号 (知っていれば):
5. 被抗議者への通知 - 抗議する場合, 抗議の意思をどのように伝えたか? 声かけ: <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 赤色旗の掲揚: <input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 他の方法: <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
6. インシデントの詳細 いつどこで? サイドマーク回航前, 30348とオーバーラップはしていません。そのため 30348 に対して先に回航するこゝを伝え、回航してジャイブを完了させた。その際に 30348 がポート側に侵入し、よけることなしに衝突した。結果 自艇のポート側に大きく穴が開いてしまった。		見取り図 (必要に応じて): 風/潮の情報を含む ① ↓ 31683 41527, ... 30348 オーバーラップなし ② 31683 30348 衝突した
適用規則: 18.2(b), 62.1(b)	証人: (氏名)	
取り下げの要求者: (氏名)	要求の承認者: (氏名)	

必要であれば本紙の裏か別紙に記載

審問要求書-番号13.jpg 247 KB

FACTS FOUND

スターボードタックの艇31683と艇30348は第2マークにアプローチし、艇31683がクリア・アヘッド、艇30348がクリア・アスターンでゾーンに進入した。
 艇31683がマークから1.5艇身の距離でマークを回航し、マークを過ぎて1.5艇身の位置でジャイブしポートタックとなった。
 その後、スターボードタックの艇30348は、艇31683の半艇身内側にオーバーラップし、艇30348はベアしマークを回航した。
 その時の両艇の距離は1艇身で、その後もこの間隔で帆走した。
 マーク回航から約5秒後に艇30348は、ポートタックの艇31683に対して「スターボー」と声かけし急激なラフアップした。
 コース変更から約2秒後に両艇が接触した。
 両艇とも接触を避けようとしたが、避けきれず接触し、艇31683はポート側の中央部のハルに損傷を受けた。
 両艇ともペナルティーを履行していない。
 艇31683はその後フィニッシュした。

Diagram: Diagram not endorsed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: RRS16.1, RRS14, RRS43.1(a), RRS62.1(b)

航路権艇30348はコースを変更する際に、艇31683に避けているためのルームを与えなかったため、RRS 16.1に違反し

た。
航路権艇30348は、常識的に可能であったにもかかわらず、艇31683との接触を避けるような行動を取らなかった。艇30348はRRS14に違反した。艇30348は接触により損傷を与えたので、艇30348のRRS14違反はRRS43.1(c)が適用されず免罪されない。
艇31683は、艇30348がRRS16.1に違反した結果としてRRS14に違反することを強いられたので、艇31683はこの規則違反についてRRS 43.1(a)に基づいて免罪される。
艇31683の第5レースでの得点は明らかに悪くなったわけではない。したがって、RRS 62.1 の救済の要件を満たしていない。

DECISION**Date & Time:** 2022-09-24 22:30 JST

第5レースにおいて、艇30348を失格とする。
艇31683に救済を与えない。

PROTEST COMMITTEE**Chaired By:** Koji Okabe (JPN)**Committee Members:** Masanori Toyohara (JPN), Ryu Hashimoto (JPN)**Printed:** 29 Sep 10:13